

# 第3章

## 健康政策課



健康政策課は、企画調整担当、健康づくり担当及び予防接種担当で組織され、企画調整担当は、保健所運営会議の開催、各種統計調査、医療安全支援センター及び口腔保健支援センターの運営等を行った。健康づくり担当は、はちおうじ健康づくり推進協議会と共に、健康増進の普及・啓発、対象者に対する保健栄養に関する指導・助言を行った。予防接種担当は、各種予防接種を実施した。

## 1 広報活動・健康教育

### (1) 広報活動

#### ア 広報媒体の活用

市広報等を通じて事業の周知を図るほか、所内外に垂れ幕及び看板等を掲示するなどの広報活動を行った。

広報媒体の活用状況(表1-1)

種 別	件 数	内 容
広報「はちおうじ」 (特集号記事含む)	118件	健康政策課49件、生活衛生課10件、保健対策課59件
タウン誌	3件	健康政策課2件、生活衛生課1件
看板の掲示	3件	健康政策課2件、保健対策課1件
シティビジョン等	8件	生活衛生課2件、保健対策課6件
医師会報	12件	

#### イ ホームページによる情報提供

保健所の事業案内、保健衛生情報、イベント情報等をタイムリーに提供するため、ホームページによる情報提供に取り組んだ。

・ホームページアドレス

(PC版)<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/007/index.html>

(モバイル版)<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/mobile/kurashi/hoken/007/index.html>

### (2) 健康教育

地域住民が保健衛生に関する理解と関心を高め、心身共に健康で楽しく日常生活を快適に過ごすために、業務を通じて健康教育を展開した。また、保健指導や監視指導のほか、地域の実情をとらえ有効な視聴覚教材等を利用して、関係機関と連携しながら講習会などを行った。

健康教育実施状況(表1-2)

区 分	合 計		会 場			
	回数	参加人員 (延)	所 内		所 外	
			回数	参加人員 (延)	回数	参加人員 (延)
2 年 度 総 数	115	6,053	36	976	79	5,077
3 年 度 総 数	28	921	12	220	16	701
感染症(結核・エイズ含む)	11	216	11	216	0	0
精神	3	96	0	0	3	96
難病	2	91	0	0	2	91
アレルギー	-	-	-	-	-	-
成人・老人	-	-	-	-	-	-
健康・食育	4	88	0	0	4	88
歯科	-	-	-	-	-	-
医事・薬事	1	233	0	0	1	233
栄養	2	25	0	0	2	25
食品	5	172	1	4	4	168
環境	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-

うち1回17人は  
オンライン

会場が所外のう  
ち、2回122人  
はオンライン

(3)DVD等の活用

当所所有のDVD等を、講習会等で利用するとともに学校や老人福祉施設等へ貸出を行い、衛生思想の普及を図った。

DVD等の地域への貸出状況(表1-3)

区 分	食 品 衛 生	環 境 衛 生	栄 養	歯 科	運 動	健 康 づ くり	薬 乱 防 止	喫 煙 防 止	ア ル コ ー ル	救 急	思 春 期	エ イ ズ	感 染 症	S T D	精 神 保 健	合 計
件数	5	-	-	-	-	0	2	-	-	-	-	-	4	-	-	11

(4)AED(自動体外式除細動器)練習機の貸出

当所所有のAED練習機を学校や地域団体に貸出を行い、AEDの操作方法の普及を図った。

AED練習機の貸出状況(表1-4)

貸出先	学 校	町 会 自 治 会	他 団 体	庁 内	合 計
回 数	3	1	3	0	7

## 2 研修・教育

### (1)実習生等指導

公衆衛生関係の人材の確保と保健医療福祉関係者の公衆衛生についての関心を深めるため、保健師学生、管理栄養士学生、獣医学生の実習を受け入れ、指導を実施した。また、保健所以外の業務についても保健福祉センター等の見学を行い、対人保健サービスに関する理解を深めた。

令和3年度実習生等指導状況(表2-1)

対象	学校名	実施期間	指導人員	指導内容等
保健師学生	杏林大学保健学部看護学科	4月26日 ～7月9日	4名	講義：地域保健活動の実際 見学：家庭訪問、デイケア、 結核検診等
管理栄養士学生	実践女子大学生生活科学部 食生活科学科 昭和女子大学生生活科学部 管理栄養学科	5月24日 ～9月21日	12名	講義：保健所各課及び保健栄養 業務について 見学：乳児健診、特定給食施設 指導等
獣医学生	岩手大学農学部 共同獣医学科	8月2日 ～8月5日	1名	講義：保健所業務及び 生活衛生課業務について 帯同実習：生活衛生関係施設監視、 現場調査体験等

## 3 情報公開

保健所が保有する情報に対する公文書公開請求及び関係機関からの行政照会の件数は、下表のとおりであり、適切に公文書の公開又は情報の提供を行った。

情報公開の状況(表3-1)

区 分	件数	食品衛生	医事薬事	環境衛生	その他
公文書公開請求	369	170	112	87	0
行政照会	252	74	149	19	10

\* 公文書公開請求の件数には、情報提供依頼件数を含む。各区分に計上した数は、各請求・照会ごとの対象公文書数を合計しているため、これらの計は件数と一致しない場合がある。

## 4 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として次の統計及び調査を実施し市内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

### (1)人口動態統計

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をもとに「人口動態調査オンライン報告システム」により調査票データを審査集計し、人口動態を把握するとともに地域保健指標として役立てた。

### (2)衛生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法に基づき各種調査を実施した。

#### 各種統計調査実施状況(表4-1)

調査名	目的	期日	対象
国民生活基礎調査	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定すること。	6月3日	4地区 197世帯
2021年社会保障・人口問題基本調査 (第16回出生動向基本調査)	世帯変動の実態と要因を明らかにするとともに、世帯推計の精度を高めるための基礎データを収集し、厚生労働行政施策立案の基礎資料を提供すること。	6月30日	4地区 197世帯

### (3)その他の統計・調査

#### 地域保健・健康増進事業報告

国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な増進のための基礎資料として、市の地域保健事業及び健康増進事業の実施状況を厚生労働省へ報告した。

## 5 健康づくり

### (1)健康ネットワークとして健康づくりを支援する活動

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政がネットワークをつくり、健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを進めるために設立した「はちおうじ健康づくり推進協議会」とともに、イベント等を通し健康づくりに関する普及啓発活動を実施した。

#### ア 市民健康の日「2021健康フェスタ・食育フェスタ」

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりを楽しみながら体験できるイベントを開催していた。3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため10月に延期しての開催を予定していたが、感染拡大防止のため中止とした。

健康フェスタ全体会及び実行委員会(表5-1)

項目	回数	開催日	内容等
健康フェスタ・食育フェスタ全体会	-	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため未実施	健康フェスタ・食育フェスタの開催にむけて、はちおうじ健康づくり推進協議会構成団体から推薦された委員による健康フェスタ・食育フェスタ実行委員会を設置して検討を進めた。
健康フェスタ・食育フェスタ実行委員会	実踏	8月3日	
	第1回	8月10日	

健康フェスタ・食育フェスタ開催(表5-2)

年度	開催日	会場	参加団体	来場者
元	5月19日	エスフォルタアリーナ 八王子	53団体	11,072名
2	中止	12件		
3	中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止		

#### イ 健康づくり活動発表会

毎年地域でいきいきと活動しているグループや団体の発表を通じて、地域における健康づくりの活性化を図ることを目的に開催していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。

実施状況(表5-3)

年度	内容	開催日	会場	参加団体	来場者
2	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止				
3	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止				

#### ウ 第42回八王子いちよう祭りへの参加

健康づくりに関する健康情報の発信や市民健康の日のPRを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加を中止した。

いちよう祭り参加状況(表5-4)

年度	開催日	参加団体	来場者
2	不参加		
3	不参加		

## (2)健康づくりサポーター

地域において市民が生涯を心豊かにいきいきと生きがいをもって暮らせるよう、地域における健康づくりを推進することを目的とし、健康づくりサポーターを養成する。また、健康づくりサポーターが、地域に健康づくりの輪を広げているよう支援する。

### 健康づくりサポーター登録者数

(表5-5)

年度	登録者
2	137
3	135

## (3)生涯を通じた女性の健康支援事業

妊娠、出産等女性固有の機能及び身体的特徴を有することから生じる女性の心身に関するさまざまな支障や悩みに対応するため、関係所管とともに教育・相談等を実施した。

女性の健康支援事業実施状況(表5-6)

年度	健康教育	健康相談	不妊・不育症相談
2	216回	通年実施	通年実施
3	295回	通年実施	通年実施

※保健福祉センター等、市の取り組みの計



## 6 食育の推進

市民一人ひとりの食に関する理解や関心を深め、健全な食生活の実践を目指す『第3期八王子市食育推進計画』に基づき、健康フェスタ・食育フェスタを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。しかし、食育に無関心な方にも関心を持ってもらえるよう、感染対策を行いながら、イーアス高尾こもれび広場にて市民食育パネル展を開催した。

### (1) 専門的栄養指導等

生活習慣病ハイリスク者・在宅難病患者等への専門的栄養指導及び集団指導を行った。

#### ア 個別栄養指導

個別栄養指導状況(表6-1)

年度	総数	再掲			
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他
2	18	9	0	1	8
3	11	4	1	2	4

#### イ 集団栄養指導

集団栄養指導状況(表6-2)

年度	総数	再掲				再掲
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他	精神
2	49	32	0	0	17	0
3	73	0	0	0	73	0

### (2) 地区組織活動支援

#### ア 団体支援

市民の食生活の向上、健康づくりの推進のため地域で活動している団体への支援を行った。

団体支援(表6-3)

項目	実施回数	延べ人員
地域活動栄養士会	8回	58人
八王子管理栄養士の会ダイエタリー・フレンズ	12回	72人

### (3) 国民健康・栄養調査

国民の総合的健康増進を図る基礎資料として、健康増進法に基づき厚生労働省の指定地区対象に調査を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。

#### (4)食育推進事業

八王子市食育推進計画の推進を図るため、八王子市食育推進会議を開催した。また、事業の取り組みとして食環境整備を行った。

##### ア 食育推進会議

八王子市食育推進計画の推進を図るため、総合的な見地から意見交換を行った。

##### イ 食環境整備事業

市民の健康寿命の延伸に向けて生活習慣病予防の観点から、市内の外食産業(飲食店、給食施設、スーパー等)に対し、野菜摂取や減塩、食事量の調整が出来るサービスを提供できる店舗の登録店制度を行い、外食産業と連携して食環境整備を図った。

はちおうじ健康応援店(表6-4)

年度	登録店舗
2	114
3	129

##### ウ 市民食育パネル展

毎年6月の食育月間にあわせ、食や健康に無関心な方にも食育に興味をもってもらえるイベントを開催した。

市民食育パネル展実施状況(表6-5)

開催日	会場	内容	参加人数
6月19日	イーアス高尾 こもれび広場	野菜摂取量や塩分摂取量に関する展示 はちおうじ健康応援店に関する展示	149名

## 7 受動喫煙対策の推進

「健康増進法の一部を改正する法律」及び「東京都受動喫煙防止条例」に基づき、施設管理権原者や市民へ制度の周知啓発を行うとともに施設管理権原者を対象とした監視及び指導などを実施した。

### (1) 苦情・相談による立入り件数等

施設管理権原者や市民からの苦情や相談により施設等を訪問し対応した。

#### 立入りによる指導・助言件数及び指導・助言に応じない場合の勧告件数(表7-1)

年度	立入件数	勧告数
2	74	0
3	38	0

## 8 予防接種

予防接種法に基づき、各種予防接種を実施し、感染症のまん延及び発病・重症化の予防に努めた。

予防接種実施状況(表8-1)

区分		延接種者数	対象者数※1	接種率
定期 予 防 接 種	B型肝炎	8,742 人	- 人	- %
	定期接種	8,677	8,988	96.5
	特別接種(1・2歳児に対する経過措置)※2	65	-	-
	ヒブ(インフルエンザ菌b型)感染症	11,643	12,015	96.9
	小児用肺炎球菌感染症	11,665	12,015	97.1
	四種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ)	11,853	12,015	98.7
	三種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風)	1	-	-
	急性灰白髄炎(不活化ポリオ)	4	-	-
	二種混合(ジフテリア、破傷風)	3,608	5,099	70.8
	結核(BCG)	2,855	2,996	95.3
	麻しん風しん混合(MR)	7,079	-	-
	定期接種	6,978	7,204	96.9
	特別接種(2～18歳の定期接種未接種者)※2	101	-	-
	水痘(みずぼうそう)	6,027	6,054	99.6
	日本脳炎	10,759	15,770	68.2
	子宮頸がん予防(ヒトパピローマウイルス感染症)	2,517	7,011	35.9
	ロタウイルス	6,368	6,673	95.4
	風しんの第5期(昭和37年(1962)4月2日～54年(1979)4月1日生の男性)	137	-	-
	先天性風しん症候群対策麻しん風しん混合特別接種 ※2	333	-	-
	19歳以上の妊娠を予定又は希望する女性	240	-	-
	上記女性の19歳以上の同居者	61	-	-
	妊婦の19歳以上の同居者	32	-	-
	おたふくかぜ ※2	5,327	7,204	73.9
小計	88,918	-	-	
高 齢 者 定 期 予 防 接 種	高齢者インフルエンザ(実施期間:10月11日～1月31日)	69,746	154,552	45.1
	高齢者肺炎球菌感染症	7,535	-	-
	定期接種	7,094	20,874	34.0
	特別接種 ※2	441	-	-
小計	77,281	-	-	
計	166,199	-	-	

※1 対象者数は本市が接種対象者に送付した勧奨通知の累積件数

※2 市独自の費用助成制度

南多摩5市定期接種相互乗り入れ実施状況(表8-2)

区分	町田市	日野市	多摩市	稲城市	延接種者数	
本市の市民が他市で接種	定期	285	1,552	1,086	36	2,959
	高齢者 ※1	396	1,092	1,442	48	2,978
他市の市民が本市で接種	定期	1,354	921	158	20	2,453
	高齢者 ※1	820	840	397	25	2,082

※1 高齢者の相互乗り入れはインフルエンザのみ。

## 9 医療安全支援センター

医療安全支援センターを運営し、医療に関する市民からの相談、苦情等に対応した。また、医療機関従事者向けの研修をオンラインで開催した。

### (1)医療安全相談窓口

相談件数(表9-1)

年度	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	930	84	36	72	89	78	84	88	91	74	67	72	95
3	904	85	77	85	84	94	61	83	71	80	70	57	57

相談者(表9-2)

年度	本人	家族・親戚	友人・知人	医療機関	その他	不明
2	700	201	9	1	10	9
3	678	191	9	2	15	9
割合(%)	75.0	21.1	1.0	0.2	1.7	1.0

内容(表9-3)

年度	相談	苦情
2	683	247
3	646	258
割合(%)	71.5	28.5

処理経過(表9-4)

年度	課題整理	対処方法の提案・助言・説明	医療・関係機関案内	当該機関(施設)へ連絡	立入検査(担当部署引継ぎ含む)	相談継続	市の関係部署案内	傾聴	その他(相談者から中断)	対応困難で終了(暴言等)
2	22	609	223	4	1	6	32	29	4	0
3	42	612	176	11	1	7	32	21	0	2

### (2)医療機関従事者向け研修

年度	テーマ	開催日	方法	対象者	視聴回数
2	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止				
3	令和時代の医療安全とコミュニケーション	11月22日~28日	オンライン配信 (YouTubeでの視聴)	医療従事者	92回

## 10 口腔保健支援センター

コロナ禍における口腔保健指導として、ほけんだよりコラム支援、給食時間での校内放送支援、朝会での歯科講話等を実施した。

また、口腔機能の維持向上に関するリーフレットを配布し、市民の生涯にわたる健康の保持及び増進を図るとともに研修をオンラインで開催した。

### (1)研修会

#### 研修会(表10-1)

テーマ	開催日	対象者	方法	視聴回数
続・子供の「食べる」の育ちかた・伸ばしかた	2月1日～15日	オンライン配信 (YouTubeでの視聴)	市民	320回
明日から使える口腔保健指導	10月8日～11月30日	オンライン配信 (YouTubeでの視聴)	市立中学校 教諭	44回
健康寿命は口の健康から ～オーラルフレイルの予防と対策～	11月1日～8日	オンライン配信 (YouTubeでの視聴)	医療従事者	175回

### (2)普及啓発

#### ほけんだよりコラム支援(表10-2)

対象	既存のコラム数	追加数(5月)*1	追加数(10月)*2
保育園・幼稚園	17	5	5
小学校	17	5	5
中学校	17	5	4

\*1 6月の歯と口の健康週間に合わせて追加 \*2 11月の「いい歯の日」に合わせて追加

#### 給食時間での校内放送支援(表10-3)

対象	校数	児童生徒数	実施回数
小学校	24校	8,546人	59回
中学校	14校	4,731人	39回

#### 朝会での歯科講話(表10-4)

施設名	開催日	施設名	開催日
川口小学校	11月4日	第五小学校	11月18日
恩方第一小学校	11月5日	美山小学校	11月29日

リーフレット配布状況(表10-5)

名称	内容	部数	主な配布先
セルフケアと検診で歯と口の健康づくり	歯周病やむし歯から守るポイント (絵が多く子ども向け)	1,684部	校内放送歯科講話を実施した小・中学校1年生
DENTAL CARE FOR LIFE (東京都福祉保健局作成)	ライフステージごとの口腔ケアと歯科に関する情報をわかりやすく説明	2,489部	いい歯の日にちなんだ校内放送を実施した小・中学校の1年生の児童・生徒
		20部	
口腔機能の維持・向上 (東京都福祉保健局作成)	嚥下体操、唾液腺マッサージ等を紹介し、日頃の口腔ケアの大切さを説明	各20部	健康づくりサポーター
認知症も要介護も防ごう！口腔ケアとかむ力	口腔機能とかむ力が全身に及ぼす影響について。セルフケアと定期健診の重要性について。		

## 11 災害対策

保健所(健康部)は、医療保険部と共に、災対医療保険部・健康部として市の災害対策本部に位置付けられている。

### (1)体制

保健所の危機管理対応にあたるほか、災害対策本部、水防本部など市災対本部への配属、さらに災対医療保険部・健康部として2次救急病院等15か所の緊急医療救護所に要員を配置している。

訓練(表11-1)

訓練等	実施日	会場	訓練内容
総合防災訓練	12月12日	八王子市立打越中学校	医療救護活動拠点の立ち上げ訓練及び発災後72時間以内に想定される事象に係る情報伝達訓練。
図上訓練	3月25日	大横保健福祉センター	総合防災訓練の状況を踏まえ、「医療救護活動拠点」における、発災直後から発災後に想定される事象に係る図上訓練。

